



深建都土第 35 号
平成 19 年 4 月 25 日

国土交通省 道路局長 様

深川市長 山下 貴史
(都市建設課 担当)



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について

貴職におかれましては、日頃より市建設行政に対するご理解、また、道路行政につきましてご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、道路特定財源の見直しにつきまして、昨年 12 月にその具体策が閣議決定され、平成 19 年度中に、今後の具体的な道路整備の姿を示した中期的な計画を作成することになったとお聞きしております。

道路は、市民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会基盤施設であり、当市を中心とした北空知地域圏は、とりわけ、人の移動・物資の輸送は、自動車交通に依存している実態であります。

北海道は、全国的にも冬期間においては厳しい気象条件であり、特に、深川市を中心とした北空知地区は、北海道内においても、特に豪雪・極寒地帯でもあり、北空知圏域間の交流・連携の強化、地域経済の活性化、救急医療・災害時の代替ルートの確保等を図る上で、地域交通路線の整備は、地方の時代と呼ばれて久しいものの、まだまだ立ち遅れており、地域が発展していく上で、重要課題と受けとめております。

つきましては、地域の道路行政を整備・管理する一自治体の立場から、意見（要望）等を提出させていただきますので、よろしくご査収のほどお願い申し上げます。

記

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見書
地域が抱えている懸案（要望意見も含め）事項として（別紙）のとおり

- | | |
|-------------------------------|------|
| (1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策 | 2 項目 |
| (2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと | 1 項目 |
| (3) その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見 | 3 項目 |

・ 問合せ先 深川市建設水道部 都市建設課 主幹 佐藤 渡
電話 0164-26-2304 (内線302)
e-mail : w_sato@public.city.fukagawa.hokkaido.jp

【 別 紙 】

(1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

・ 国道12号線の4車線化早期整備

地域医療の課題として、当市は高齢化率、30%を超える地域でもあり、病院に通う住民が多い地域であります。

北海道の第3次保健医療福祉圏の計画では、北空知は、道央圏となっておりますが、高度な医療施設を持つ地域センター病院がある、札幌市・旭川市への救急搬送の利用頻度も高く、都市への移動時間の短縮となるよう、特に旭川方面への道路整備は要望も高く、冬期間など高速道路が通行止めになる事も多々あり、具体的には国道12号線の深川・旭川間の4車線化の早期実現されますよう要望したい。

・ 幹線道路ネットワークの早期整備及び高速料金の低額化

深川市を中心とした北空知圏は、道内有数の食料生産基地として、生産拠点から消費地までのアクセスとして輸送経路・時間を考慮したときには、幹線道路ネットワークの早期整備に期待をしているものであります。

また、高速道路による輸送経路を利用したいが、生産コスト全般に跳ね返ることもあり、中々、頻りに利用しづらい環境でもある。高規格幹線道路を利用したい企業などからは、料金の低額化の要望も高まっており、高速道路設備の利用促進と地域経済の活性化の効果もあり、検討をお願いしたい。

(2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

・ 高齢化する道路・橋梁の適切な維持管理と計画的な整備（補修・更新）
（ 延命化対策のための事前調査も含めて ）

今後、道路構造物の耐用年数のピークが重複する事を想定した場合、特に橋梁などは、戦略的な管理方法等の対策が必要とで考えていますが、具体的な目標を設定して、スピーディに政策展開する財源の裏づけが望まれますが、財源対策に苦慮しています。トータルコストの抑制政策として、道路管理の面からも財源措置されるよう要望したい。

※ 道内には2万8千・・・深川市には282 橋梁

(3) その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

・ 地方生活道路の充実と厳寒地区の道路管理費用の負担緩和政策

当市における生活道路として、H18年4月現在、825路線692キロメートルを管理。舗装率は54.1%。まだまだ不備であり、住民に不便をかけています。

冬期間における除排雪対策費や凍上が原因として発生する道路補修（維持）費の予算として、自然の気候の変化により、急激な負担が強られる年度もあり、道路整備については、一般交付税のみならず、道路特定財源の一部を豪雪・厳寒等の地域格差を配慮した措置がされるよう要望したい。

- 安全・安心な冬季交通（除雪作業における電柱・道路構築物の対策）

冬期間の生活道路環境の整備として、通年を通して、通学路・交通ステーションから病院までの通院路の整備は、安全・安心して生活できる環境として、必要不可欠ですが、車歩道の除雪の際に障害となる、道路構築物の対応に苦慮しております。

コンパクトなまちづくりを構築していくうえでは、景観にも配慮した場合、冬期除排雪の対応策のひとつとして、電線類等の地中化の積極的促進や街路樹等の設置抑制、道路標識などの配置の工夫、更には道路施設としての流融雪溝等の整備推進などが必要と考えますので、よろしくご検討をお願いしたい。

- 交通安全への政策として（カラー縁石配置の対応について）

通学路となっている学校周辺や病院・老人保健施設などの歩車道縁石については、交通安全上の見地から、カラー縁石（着色コンクリート）を配置するなどして、ドライバー等の注意を一層喚起するような対策の検討をお願いしたい。